東京美唄会

第50号
★発行所★
東京美唄会
事務局 鈴木 正行
Eメール：
masa890413@gmail.com
TEL090-4375-3274
★発行責任者★
東京美唄会
会長 三井 照夫

★印刷所★
株式会社外為印刷
東京都台東区
浅草2-29-6
TEL03-3844-3855
FAX03-3844-9214

霧の林～白樺防風林
撮影者　今橋　道夫
（美唄市豊葦町在住）

年頭のご挨拶

東京美唄会会長　三井 照夫

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様、関係者の皆様にはご家族ともども希望に満ちた新年を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素は東京美唄会の活動に格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、年初より新型コロナウイルスが中国武漢市から全世界に広がり、国内でも二月に豪華客船で集団感染が確認された後、全国的に猛威をふるい、東京オリンピック・パラリンピックの一年延期、緊急事態宣言の発令など社会生活の大部分が制約されました。日常生活に於いても、不要不急の外出自粛、三密の回避、マスクの着用、手洗いの励行など感染症の影響により未だかつて経験した事のない極めて困難な生活を送ることになりました。その状況下では東京美唄会の総会・懇親会を含め他の行事も開催は難しいと判断し、残念ながら中止することにしました。

今年は、３月２７日の会場をおさえ準備を進めて参りましたが、収束の兆しが見られず苦渋の選択として中止との判断に至りました。新型コロナウイルス感染収束後は新しい価値観が生まれ、人と人との距離を保つ新たな日常となり、心と心の結び付きが求められる。今だからこそ日常のさりげない繋がりも大切にしたい。今年も会員の皆様と心をひとつにし、不断の努力を続け、誰からも共感がもたれる新しい東京美唄会を目指し全力で取り組んでまいりたいと考えております。

年頭にあたり美唄市の益々の発展と会員の皆様、関係者の皆様にとって元気で明るい希望の持てる良い年でありますよう心からご祈念を申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ

美唄市長　板東 知文

新年明けましておめでとうございます。

東京美唄会の皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、平素より市政の推進にご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

美唄市は昨年、明治２３年に沼貝村が設置されてから１３０年、昭和２５年に道内１５番目の市として誕生してから７０年という記念すべき年を迎えることができました。

このことに大きな喜びを感じるとともに、今日の礎を築いてこられた先人の皆様のご尽力に対しまして、心から敬意と感謝を申し上げます。

私たちは、先人の皆様が度重なる困難を克服し、これまで培ってきた自然や歴史、そして暮らしに根ざした生き方といったものを、大切な財産として次代へ引き継ぐために、ともに力を合わせて「過去を今に生かし、未来につなぐ」という強い信念と行動力のもと、美唄らしい地域づくりを進めていかなければなりません。

「令和」という新たな時代の幕開けとともに、この節目の年を「勇気をもって挑戦する年」として位置付け、かけがえのない地域の力・市民の力を発揮して、「どんなに人口減少や高齢化が進んでも、誰ひとり置き去りにしない、ともに支え合い・分かち合う地域づくり」に向け、取り組んでまいります。

このため、本年は新たな総合計画の初年度として、「ともに支え合い、分かち合う田園文化創造都市」を目指し、少子高齢化、人口減少、格差といった地域の課題に全力で取り組み、美唄らしい未来を切り拓いてまいります。

東京美唄会の皆様にはより一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息とともに、本年が会員の皆様にとりまして健やかで希望に満ちた「すばらしい一年」となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

第37回東京美唄会総会・懇親会

中止のお知らせ

令和3年3月に中野サンプラザで予定しておりました総会・懇親会は、12/12の役員会にて新型コロナウイルス感染再拡大に伴い、残念ながら昨年同様中止が決定しました。なお、誠に申し訳ございませんが会存続のため同封の振込用紙にて年会費￥2,000の振込みのご協力をよろしくお願いいたします。

郵便局　振込口座番号　00170-2-0367030
東京美唄会

連絡先：事務局長　林　芳雄
TEL　04-2963-3827

会員通信

第36回東京美唄会出欠返信はがきの通信欄から掲載。全部は載せることはできません。ご了承下さい。

浅井　博文
今回は病身の為、出席出来ません。皆様方によろしくお伝え下さい。

石川　恭子
ご盛会を祈ってます。

石倉　精三
他の会合と重なったため、今回は欠席させていただきます。

岩間　光雄
ふる里よ永遠なれ、心の地ふる里を思い出そう。いつも御世話御苦労様。

太田　弘子
寒い中いつもありがとうございます。

尾崎　進
ご盛会をお祈り申し上げます。☆思い出す！山、川、学び舎！あの人は！

笠松　栄子
新型コロナに感染しないよう気をつけましょう。開催できるのですか？不安ですよね・・・

神尾　武治
体調が思わしくありません。残念ですが欠席致します。幹事の皆様ご苦労様です。

菊池　圭子
旅行予定なので欠席します。

國吉　昌晴
119年の歴史を持つ峰延小学校が本年3月に閉校。昨年11月閉校式典を報じた「北海道新聞11月17日号」が知人より届きました。校歌を唄った日々が懐かしい。

小林　邦夫
年代的に老いて来ましたが可能な限り元気で参加し楽しみたいです。

小山　惠子
いつもご案内ありがとうございます。今年のお正月も小川家新年会を34名で集まり、おばあちゃん業を忙しく元気に過ごしております。感謝しております。

佐藤　公彦
お世話役の皆様いつも有難うございます。年に一度の逢瀬を楽しみにして居ります。

佐藤　八雷
2年振りの出席です。

澤井　真奈美
またまた孫に会いにハワイに行ってきます。皆様によろしく！！

平良　秀男
所用にて欠席致します。

高田　禮嘉
ご苦労様です。

立花　千鶴子
長らくお世話になりましたが、年令と共に一人で遠く迄出ていく不安もあり今年で会を脱会したいと思います。会費と些少ですが寄付金を振り込みました。

棚橋　八重子
お知らせありがとうございます。美唄を離れて54年も経ちますが、年齢を重ねるたびに増々故郷をなつかしく思い出しております。

土栄　正紀
盛会を！ご苦労様です

中島　笑子
昨年初めて参加させて頂き、とっても楽しい時間を共有出来、思い出の1ページが増えました。

名子屋　正紀
時代を超え先人たちが慈しみ紡いできた故郷に感謝しています。

登　正弘
35回の牧村三枝子歌謡ショウは素晴らしかった。今回は何が出てくるか楽しみにしています。

原田　和芳
去年10月に美唄に行きました。東明から美唄ダムまで見て来ました。紅葉のピークで良かった。

東浦　拓郎
本年も出張のため出席が叶わず残念です。盛会となりますことを願っております。

平井　邦和
今回は、総会開催日を延期してはどうでしょう。

藤島　浩二
14時頃になる見込みですが、宜しくお願い申し上げます。

古川　陽子
久しぶりに出席させていただきます。

前田　五郎一
郷土の皆さんと会えることを楽しみにしています。

三浦　武美
東京美唄会の発起人代表と初代事務局長を努めた会員として第36回総会をお祝い申し上げます。又役員の皆様に感謝申し上げます。久し振りで総会に出席致します。

水村　真一
梶君と同じ席でお願いします。

山田　龍司
今回で三回目の出席です。毎回楽しみにしております。（それだけ年になってしまったのかな！）

山本　幸子
よろしくお願いします

油井　範善
あいにく尺八の演奏と重なってしまいました。盛会を祈ります。

吉住　優子
盛会をお祈りします。

吉田　瑞惠
いつもご連絡ありがとうございます。今回も出席できないこと残念です。次回はなるべく出席できるように楽しみにして居ります。

渡邊　喜美子
昨年暮れから両膝を患っています。様子を見てきましたが無理の様です。盛会を祈っております。幹事の皆様ご苦労様です。

渡部　征一
幹事役ご苦労様です。

訃報

東京美唄会の監事として長く当会を支えて頂いた顧問の有岡昌美氏が令和2年5月9日、ご逝去なさいました。ここに慎んでお知らせ申し上げます。

美唄のソウルフード「袋やきそば」
製麺・食堂・宅配弁当・催事
有限会社　角　屋
○美唄自衛隊食堂部かどや
○市役所食堂部かどや
〒072-0031　美唄市西二条北1丁目2-3
TEL：0126-62-7321
FAX：0126-63-2774

肌なじみの良いとろみ湯が自慢の温泉宿
Grotta Azzurra 青の洞窟温泉 VIVA 美唄
ピパの湯　ゆ～りん館
ご宿泊プラン(1泊2食付)9,000円～
日帰り宴会3,700円～　日帰り入浴(大人)650円
〒072-0808美唄市東明町3区
tel:0126-64-3800
Fax:0126-63-2115
ホームページ http://yu-rinkan.com/

大正2年創業
美唄　長栄堂
美唄名物
べかんべ最中　くるみ餅
美唄市大通東1条南1丁目
☎0126－63－2011

私のふるさと美唄の思い出

（盤の沢出身）　丸山　義明

思い出深い、我がふるさと美唄の思い出を振り返ると、何と懐かしく、とてつもない遠い日の記憶の奥深くから残像として思い出がすぐ蘇り、心を和ませてくれるのか計り知れません。

また、美唄出身の方に美唄のお話しが聞ける至福の時間が過ごせる「東京美唄会」の存在を知ったのは、「美工同窓会だより」で、今から八年前のことでした。

私の誕生地は「盤の沢」です。今から遡ること六十五年前当時五歳位で野山を駆け巡っていた頃、よく毎年、漆かぶれになり、炭鉱病院の前の（発電所の近く？）橋の下に、塩分の多い冷泉（夏の当時かなり冷たく感じた）に叔母につれて行かれた記憶があり、夏の暑い日の帰り、よく炭鉱病院のそばにあったお店でアイスキャンデーを買ってもらった記憶があります。何と其処のお店が当会顧問の吉見昭徳さんの実家と知ったのは当時から約六十年後の事でした。

旭台の旭小学校に東明小学校から転校したのは六年生の時でした。校歌の一節に・・・『くま笹わけたつるはしの歴史も遠いこの鉱山（やま）にそびえる旭小学校』とあります。

もう一節に・・・『輝う北斗のけだかさをめざし希望を語るときピパイの清流ひびきます』とあります。ああ何と先人は素晴らしい校歌を残してくれた事でしょう。

今も古希を過ぎ、元気で仕事が出来るのは、当時通学で旭台から美唄炭山駅までのかなりの距離、高低差を朝晩歩き足腰が自然に鍛えられた為だと思い、当時美唄の自然の中で有ったことに感謝しております。

その後、就職で関東に来て早五十二年になり、今まで、関東・関西・中部等仕事関係で出会った方々に自己紹介で何回、いや何百回か生まれ故郷美唄のことを話したか計り知れません。

これからもめっきり少なくなりましたが新しく出会った方々に「私の美唄」を知らせ、自慢したく思います。

追伸：これからも、東京美唄会役員の方々の努力のもと「東京美唄会」の継続、また、美唄関係情報満載の「東京美唄会会報」を楽しみにしております。

「びばい」

（神奈川県藤沢市在住）　澤田　久子

父の勤めの関係で各地に転居することが多く、子供の頃は転校が多かった。最初に美唄に来たのは小学生の頃、その後横浜へ。再び美唄に住んだのは高校生の頃だった。通算すると九年間を美唄で過ごしたことになる。

初めて見た北国の冬、どこまでも続く広い石狩平野に積もる雪は深く、遥か彼方にピンネシリの山々が見渡せた。

転校した峰延小学校での冬、教室のだるまストーブは、真っ黒な石炭をおなかいっぱい食べて赤々と燃えていた。

そうそう、石炭当番というのがあった。一軒の家くらいある広さの石炭小屋から、石炭を入れて重いバケツを運ぶ。十能（じゅうのう）で石炭を焼（く）べ、デレッキ（火掻き棒）で掻き回すとゴォーッと勢いよく燃えた。だるまのお守（も）りが石炭当番の仕事。

通学路の雪の道では、荷を積んだ馬橇（ばそり）も通っていた時代だった。下校の時、馬橇の荷箱にこっそり掴まって乗った。鈴をつけた馬が白い息をファーッと吐きながら、シャンシャンと音をたてて進む。馬を操るオジサンに見つかり、「コラッ！」と叱られて飛び降りた。

白く冷めたい雪の道路の真ん中に、時々、馬の落とし物が湯気をたてていた。

高校時代、冬休みが近くなると教室の大掃除があった。男子生徒がスコップで、窓の外から教室に雪を投げ込む。一面雪に覆われた教室の床を、ジェンカを踊る時のように輪になって繋がり、足でゴシゴシと擦る。黒くなった雪は窓の外に捨てた。仕上げに拭き掃除をすると、床は顔を洗ったように綺麗になった。雪国ならではの楽しい楽しい掃除だった。

北国にようやく春が来ると、戸外での授業を先生にせがんだ。やっと伸びてきた頼りない細く柔らかな草に腰を下ろし、生まれたての春の陽（ひ）を浴びて受けた国語の授業。頬を通り過ぎる風は、まだ冷たかった。

美唄での心和む想い出の数々は、年を重ねる程に大切で忘れ難いものとなっている。

美唄の思い出

（栃木県小山市在住）　菅野　義彦

私は三井生まれ、後に盤の沢に移り、途中赤平へ３年５月程住み、その後また美唄の大通り５丁目（当時住所）に住んでいました。

美唄の一番の思い出は、小学校５年の秋から中学１年３月に美唄を離れるまで行っていた「新聞配達」です。今からちょうど５０年程前、小学５年の秋～中学１年終了時迄の２年半でした。

今新聞少年というのは、死語のようですが、その頃中学校では、母子家庭の息子で新聞少年が結構いました。

私は同学年の少年に比べて、背が低く、やせていたためか、たまに新聞を配った先で食べ物をもらいました。小さくてやせた少年が、新聞を配っている姿を見て不憫に思ったのでしょうか。

父が小さな店を経営していて、その店に同級生や近所の友達が集まり、夕刊配達を手伝ってくれたものです。

夕刊配達に同級生や近所の友達が手伝ってくれたことで毎日配達員が違うというクレームもありました。

朝刊は朝早いので辛く、最初は一人で配達していたのですが、そのうち父と一緒に配達するようになりました。

でも表向き私一人ということで、新聞店の近くで父が待っていると、そのうち店にばれて、おいＰＴＡが外で待っているぞと言われたものです。

駅前ビル地下の喫茶店に朝刊を配る時は、シャッターを開け、中に入ったのですが、まるで泥棒に入るようで嫌だったものです。

私の夢は、いつか美唄に古家を買い、それを修繕するのに美唄を離れる頃一番仲の良かった工務店社長を呼び、昔話をして、また古い友人達と旧交を温めることです。

父と一緒に新聞配達をし、父の仕事を手伝い、母が家を出て行ったりと辛かった思い出も一杯ですが、今はすべて良い思い出です。

川崎測量有限会社

一般社団法人　神奈川県測量設計業務会々員
国土交通省登録(15)867

〒211-0051川崎市中原区宮内4-14-16
電話：(044)741-3712
FAX：(044)741-3713
E-mail：kawasoku@swan.ocn.ne.jp

代表取締役
小野保良
(美東18期)

1．美唄応援団づくり事業「泊まって応援びばい割」について

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により停滞している市内経済の回復を図るとともに、宿泊事業者を含む市内事業者を支援するため、「泊まって応援びばい割」を実施しております。東京美唄会の皆様には、改めて「泊まって応援びばい割」についてご紹介させていただきます。

びばい割は、市内宿泊施設が定める対象プランを通常料金の50％で泊まることができるものです（ただし、割引額の上限は5千円）。何度でもご利用可能ですが、1回のご利用は5泊までとなります。

さらに、宿泊された方には、美唄市内で使用できる「びばい商品券」を1泊につき1枚差し上げております。

対象期間は令和3年3月15日までで、宿泊事業者によっては、宿泊日を定めない宿泊未来券も発行しており、この宿泊未来券は令和4年3月末までご利用可能です（お1人5泊まで）。

また、びばい割をご利用される方には、「ふるさと美唄応援団」への登録をお勧めしております。

北海道をはじめ全国で、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が増加しているところですが、東京美唄会の皆様には、お得な「びばい割」を活用して、是非、美唄に来ていただきたいと思っており、市内の宿泊事業者も十分に感染症対策を行い、安心して宿泊できる環境を整えておりますので、感染者数が減少し、移動による感染リスクが低下した際には、ふるさと美唄へお越しいただきたいと思っております。

2．ふるさと美唄応援団について

美唄市の人口は、令和2年11月末現在で20545人となっており、少子高齢化により毎年約500人以上の人口が減少しています。社会保障・人口問題研究所の推計では20年後の2040年には約半分の1万人になると試算されています。

そのような状況の中、美唄市では、美唄にゆかりのある方や美唄を応援したいと思っていただいている方々などの「関係人口」との絆を深め、まちづくりの力になっていただこうということで令和2年7月に「ふるさと美唄応援団」を創設いたしました。

活動内容としては、例えば、美唄に遊びに行く、美唄の特産品を購入する、美唄の魅力を発信する、ふるさと納税をするなど、ふるさと美唄のために活動していただけるならどんなことでも結構です。

入団された方には特典として、全国の「ふるさと美唄応援店舗」での優待サービスの提供がうけられるほか、美唄市の最新情報を発信するメールマガジンを受けていただくことができます。

入団方法は、美唄市のホームページから電子申請にて登録をお願いしています。

東京美唄会の皆様には、「ふるさと美唄」を懐かしく想っていただけるようふるさと美唄応援団事務局としても情報発信していきたいと考えております。

ふるさと美唄応援団の趣旨等について、ご理解・ご協力を賜り、応援団にご登録いただけましたら幸いに存じます。

ふるさと美唄応援登録フォーム

ふるさと美唄応援団事務局
美唄市総務部企画広報課
担当・・・林、新田
電話0126（62）3137
メール　furusatooendan@city.bibai.lg.jp

3．ふるさと納税について

ふるさと納税に関して、近況のご報告をさせていただきます。

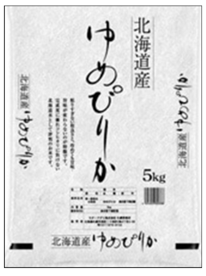
令和2年度のふるさと納税額は、前年度同時期よりも大幅に増えて、11月末で、寄附金額2億8072万2千円で、前年比531％となっています。

返礼品人気ランキング（寄附金額ベース）では、

1位「令和2年北海道美唄市産　ななつぼし5㎏×2」

寄附金額￥10000

2位「令和2年北海道美唄市産ゆめぴりか5㎏×2」



寄附金額￥12000

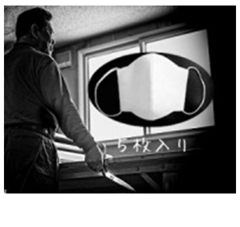
3位「【米食味鑑定士厳選米】ふっくりんこ5㎏×2【令和2年産】」

寄附金額￥10000

4位「ラム肉ロールスライス2000g」

寄附金額￥10000

5位「頑固職人が造る縫製屋の簡易3Dマスクキット（5枚入り）」



寄附金額￥5000

となっております。

1位及び3位から5位、までは、美唄市の美味しいお米が選ばれています。

4位のラム肉ロールスライスは、新たに今年度から返礼品に加わったものです。

5位のマスクは、コロナ禍で全国的にマスク不足が深刻だった時期に多くの申込みをいただきました。

前年度の寄附金額は、9千698万5千円と惜しくも1億円に届かなかったため、今年度は倍増の2億円を目標に掲げて、返礼品の充実や情報発信に努めてきました。

コロナ禍の巣ごもり需要の効果もあると思いますが、現時点で今年度の目標額2億円をすでに上回っております。多くの皆様のご寄附に心から感謝申し上げます。

美唄には、美味しいお米、美唄焼き鳥を含め、まだまだ魅力的な特産品がたくさんありますので、東京美唄会の皆様には、今後も「ふるさと納税」を通じて美唄市を応援していただければと存じます。

美唄市の人口

（令和2年11月末日現在）

男9,787人
女10,758人
計20,545人
世帯数11,277世帯

編集後記

今回は会報50号なので、本来ならば節目として特別号を発行しなければならないところですが、コロナ禍で総会も中止となり、例年どおりとなりました。誠に申し訳ございません。

読売ジャイアンツの長嶋茂雄名誉監督が「わが巨人軍は永久に不滅です」と言った名言がありますが、私の今の心境は「わが東京美唄会は永久に不滅です」と叫びたい気持ちです。

最近「不滅」で想い浮かぶのは「鬼滅」です。昨年は「鬼滅の刃（きめつのやいば）」というマンガが大ヒットしました。主人公である兄が、鬼になってしまった妹を背負い、人間に戻すために鬼と戦う物語。その中に描かれる兄妹『愛』、兄が倒してしまった鬼に寄り添う『愛』に涙がとまりませんでした。『愛』も「不滅」であると気付かされた涙です。

会員の皆様に会報へのご寄稿を募集しています。美唄の思い出、趣味のこと、体験記などについて綴ってみませんか。

今回も、寄稿して頂いた方々に心より感謝申しあげます。

〒231-0852
横浜市中区西竹之丸106-3-404
鈴木　正行